

千葉県議会議員

ふじしろ政夫 と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫

政務調査報告ニュース 2011年12月号

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

TEL & FAX 047-445-9144

Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

後援会ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

地域医療をまもろう



南相馬市立総合病院のあり様から

地域医療の構築に向け活動している「地域医療研究会」の全国大会が2009年の長野市に続いて高知市で催されました(10/29~30)

諏訪中央病院の鎌田寛さんからは

福島原発事故4日目に南相馬市立総合病院に



諏訪からの医師が入り支援したことが報告されました。

薬も酸素もガソリンも南相馬に入っていない、原発から23kmの南相馬市立総合病院での活動。“相手の

の身になって支援”することが地域医療で最も重要なことであるとして、10日後には避難所へ温かいおでんを持って入ったと、『地域医療のこころ』を語りました。

南相馬市立総合病院の金澤幸夫院長は

本人も多くの被曝をうけながらも地域医療を守ってきた活動報告をしました。

3/11は外来ロビーにベッドだけを並べての治療。その後原発事故、放射能汚染の状況から南相馬市人口は7万1000人から1万人に減少。今4万人にもどった中での病院運営です。3/14の3号炉爆発の時は、残るか否かを病院スタッフ各人の判断にゆだね、正面玄関・窓すべてを閉鎖したそうです。

公立病院、私立病院に国からの財政補助はないとのこと。入院患者が減りスタッフが減った中での経営は困難を極め、破綻は時間の問題と、

課題を提起しました。

南相馬市立総合病院はこの様な困難な中でも独自にホールボディカウンターを購入して内部被曝の状態を測定しています。

金澤院長は「最低限救急医療は守りたい」と語り、住民の安心の為には「徹底的な除染・内部被曝の検診・18歳以下の子どもにはエコーによる甲状腺検診が必須」と訴えました。

津波による被害、原発による放射能汚染そして地域のコミュニティーの不安定化の中での地域医療の活動です。十分な放射能対応をして医療を守っていく大切さを感じました。

猫実川河口域は生き物がいっぱい

県は「三番瀬ミーティング」を行徳で開催しました(11/13)。市民3団体の活動報告の後、県の三番瀬再生計画の説明と意見交換でした。

三番瀬市民調査の会の猫実川河口域の調査報告では、豊富なアナジャコと多様な生態系を支えるカキ礁、県のレッドデータブックに記載されているヤマトオサガニなど動物141種、植物16種の生息が確認されました。酸化還元電位はほとんどプラスでヘドロの海・死んだ海ではなく「三番瀬の生物の最後の生き残り場所」

の泥干潟であることが明らかになりました。人工干潟を造る計画は三番瀬の豊かさを殺してしまいます。



三番瀬マスコットキャラクター「ハゼちゃん」

市民と共に公園除染作業

鎌ヶ谷市公園緑地課は「放射能から子どもを守る会」と協働し、市制公園の除染作業を実施



しました(10/27)。市職員9名・協力企業 目黒建設総業(株)・30名程の市民の参加で行われました。落ち葉、地表の土(2~3 cm)の除去作業をし、穴を掘って埋め60 cm程の覆土をする作業です。

現場は放射線量0.34マイクロシーベルト/時の林の中。落葉、表土の除去作業で、0.18マイクロシーベルト/時まで下がりました。

除去物の放射線量は集めた状態で0.71マイクロシーベルト/時ですが穴に埋めて覆土をした上からは0.13マイクロシーベルト/時でした。今後の課題は①埋めた穴の確認と管理②地下水への影響防止③若い女性の作業の可否④高線量の側溝の除染だと思われます。

経済産業省前座り込み



10月27日「原発はいらぬ福島の人たち」の経済産業省前での座り込みに参加しました。道端で女性たちが指に糸をひっかけ何か編んでいました。糸一玉で約4m近いロープができそのロープを繋げて29日に経済産業省の周りを取り囲むのだそうです。

11月3日福島の女性たちの行動に連帯する「原発はいらぬ全国の女性たちのアクション」にも参加しました。福島の女性たちから始まり、各地の女性たちにまで広まった座り込み抗議は、政府や東電にどのように映ったでしょうか。マスコミにも報道されることなく、細やかな抵抗で終わってしまうのでしょうか。



そこで出会った双葉町から東京へ避難されている母子の言った「故郷に帰りたいという思いはあるが、私たちが生きている間に帰ることは出来ないでしょう」という言葉が深く心に突き刺さっています。 東中沢 戸部光枝

市民の声



10月23日(日)、「入札改革」——社会的価値の追求と公契約——のパネルディスカッションを受講した。

パネラーの一人市川市副市長は、従来のやり方を改正し現在は一般競争入札に「総合評価方式」を取り入れ、入札業者を総合的に公正に評価する「総合評価一般競争入札」制度であると説明された。最適な方法であり情報公開もしていると自負された。

三人目のパネラー藤代氏は「特に人件費比率の高い、清掃・管理業務委託において労働条件を蔑ろにした入札が多く行われている」と鋭く問題点を指摘して労働賃金が徐々に下降していることを問題にした。公契約条例の必要性を説いて野田市、



川崎市が条例設定した実際を紹介し、未だ日本がILO94号条約を批准していない立ち遅れの問題点を説明したが、日頃の十分な資料収集・調査活動の実績がにじみ出ており感心した。

私は有意義な会に参加でき満足感を得た。

道野辺本町 樋口美佐子

12月千葉県議会 予定

11月25日 開会 ~ 12月20日 閉会
《議案》

- 指定管理者の指定について 22ヶ所
- 補正予算 105億6300万円
東日本大震災市町村復興基金 30億円
地域医療再生臨時特例基金 66億円
- 「サンライズ九十九里」を千葉県観光公社へ3億4000万円で処分

~~~~お知らせ~~~~

- ◆ 三番瀬調査報告会 12/24 13:30~
船橋市男女共同参画センター・500円
- ◆ 田中優さん講演会
「今からできること!放射能・エネルギー」
1/21 15:00~松戸市民会館 500円
- ◆ 法律無料弁護士相談(要予約 ふじしろ迄)
1/28(土)2/25(土)3/31・4/28 13:00